

おいしい図書館

No. 40

東葛地区

図書館を考える

市民交流会に

参加して

東葛地区図書館を考える市民交流会が、柏・図書館友の会の呼びかけで、七月十九日(土)午後一時三十分より柏市立図書館で行われました。毛利、磯村ご参加しました。柏・図書館友の会の方の司会で、まず柏市から順に自己紹介と会の活動などを話した後、自由に意見交換を行いました。

柏・図書館友の会

会を作つて三年・会員三十名。その内十名が図書館職員・本館ノ、分館ノ・図書館友の会といつても、ボランティアではない。運動体である。新図書館計画が平成九年から具体化してきて、平成十二年から一千万の建設が始まる予定。友の会として「新中央図書館プロジェクト」を作り、市民の声を反映させるために活動している。利用者懇談会を大切にシ、市政についても意見を述べている。

市民がつくる

図書館の会

秋孫子

会の発足は一九九七年四月。会員七十名の内、市議会議員二名

は準会員。中央館ノ、分館ニ。建て替へにポイントを置いた活動をしてゐる。九六年十二月市議会と全会一致で建て替へを採択。どこに出きるか、複合館になるのかなど、まだ未定。複合館にはしたくない。以前、文化センターと図書館の複合館の予定で青写真が出き上った時点で、建物そのものにクレームが付き、撤回になった経緯があった。会報を出すのも手間が掛つて難しいと感じてゐる事など...



みんなの図書館を

考える会

市庁舎が移転し、旧庁舎跡地
 検討委員会と、複合施設として
 地下に書庫、一、二階に図書館が
 入ることになった。一九九四年、
 十二月、市民の声が反映されずに
 市民の図書館が出来るだろうか
 ということが勉強する会を発足
 会員十名。今なら青写真に入れ
 てもらえるからと要望書を三回
 出した。新設図書館検討委員会
 が動き、図書館、市の職員、建
 設会社と二年話し合った。図書
 館の上の階にホールが造られる
 というところで、図書館のフロア
 に段差が出ることにわかりも
 めた時、菅原さん（基本構想、
 アドバイザ）が「全国に有名に

なつて見学が増えるだろう。物
 笑いの種として」と言つて下さ
 つて、段差がないように設計し
 直した。市民が動いたことを考
 えてくれた。現在工事が進んど
 いて、会の活動も今は緩んとい
 る。後は運営などに関われたら
 と思つている。九八年十月完成。

流山



図書館ボランティア

栗（しお）り

図書館ボランティア講座修了後
 の一九九七年四月に発足したばか
 り・森の図書館と活動。市は本

ランティア担当の人を雇つた。ボ
 ランティア室はない。市主導でボ
 ランティアが養成されたが、活動
 の補助金は出せないとのこと。
 活動して実績を作つて出しても
 らえるようにしたい。会員から
 は手伝つてやつてゐるのにと
 う不満がある。ボランティア担当
 者は、ボランティアか、図書館か
 どちらを向いていけばよいか悩
 んでゐるようだ。

沼南町の 図書館を 考える会

皆さんの話しを聞いていて、
 沼南町は後進回
 と感じる。九五年
 五月発足。
 （裏面につづく）

一九九五年五月発足。会員七十名。二十年前から図書館を希望する声は上っている。図書館協会に委託した「沼南町中央図書館基本構想」が出た。沼南町と書かなくてもどこの町にも当てはまりそう。勉強して沼南町らしいものに作りあげたい。町の総合計画には平成十二年に出きるようになってはいるが、多分無理だろう。図書館はいらないうという議員。図書館より福祉が大切という市民。準備委員会も出たが、図書館なんかいらないうという人が委員になっていることが問題。基本構想説明会で市民の声を聞かないと失敗すると言われたことは良かった。



休憩の後、自由に意見交換。いろいろな意見がだされまし。これから、年に一度は会い、お互いの行事には声を掛け合ひましょうということになりました。予定の時間が進む程熱心な話し合いになり、お互いから学び合ひ、元気をもらいあつて、再会を約して終わりました。

(毛利多壽子)



発行 「おーい図書館」
連絡先 青木和子

松戸市緑台八三〇、六〇
0477(三六九)五三六四